

# 研究に関する情報公開文書（オプトアウト）

## 研究へのご協力をお願い

当院では、以下の研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた情報を用いて行う後方視的観察研究であり、新たに患者さんへ負担を伴う検査や介入は行いません。研究対象となる方から直接同意を取得することが困難なため、研究内容に関する情報を公開し、拒否の機会を保障する「オプトアウト」により実施しております。

### 1. 研究課題名

1年以内の心不全再入院リスク因子の調査

### 2. 研究の目的

近年の高齢化に伴い心不全患者は増加しており 2030 年には 130 万人にも達すると推計されています。また、心不全は根治する病気ではなく入退院を繰り返しながら進行していくため、生活の質（QOL）の低下に繋がっていくとされています。そのため、心不全患者の理学療法を実施する上で自宅退院を目指すだけでなく、再入院を予防することは重要な課題です。そこで、再入院リスク因子を調査し、再入院予防に寄与することを目的としています。

### 3. 研究の対象

対象期間：令和 5 年 2 月 1 日～令和 7 年 12 月 31 日

当院に入院し、リハビリテーションを受けられた心不全患者さん

### 4. 研究の方法

診療録および診療連携に必要な範囲内で共有されている患者情報から得られた項目を用いた後方視的観察研究です。

#### 【収集情報】

- ・年齢、性別、診断名、心エコー所見、採血データ
- ・運動機能、栄養状態
- ・筋力、筋量（In body）
- ・1年以内の再入院の有無

### 5. 研究期間

倫理委員会承認日～令和 9 年 3 月 31 日

## **6. 利用する情報の管理**

取得した情報は匿名化し、個人が特定できない形で管理します。対応表は研究責任者が厳重に管理し、外部に漏れることはありません。研究成果は学会や論文で公表されますが、個人が特定されることはありません。

## **7. 研究対象者の利益および不利益**

本研究は診療情報のみを用いるため、新たな負担や危険はありません。

## **8. 研究への参加拒否について**

本研究への情報利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。参加を拒否されることによって生じる診療上の不利益は一切ありません。なお、既に解析済みのデータは削除できない場合があります。

## **9. 研究機関および研究責任者**

川西市立総合医療センター 理学療法科  
研究責任者：河渕 友也

## **10. お問い合わせ先**

川西市立総合医療センター 理学療法科  
担当者：河渕 友也  
TEL：0570-018-199